

株主の皆様へ



代表取締役社長

黒田 浩史

■ごあいさつ

株主の皆様には、格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社第71期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月

■当期の概要

当連結会計年度におけるわが国経済は、中国経済の成長鈍化による世界経済への影響に加えて消費税増税等による国内消費の縮小が懸念されたものの、政府による財政・金融政策の効果等により回復基調で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループの主要顧客である半導体・液晶市場に加えて自動車市場も堅調に推移し、受注高は13,990百万円(前年同期比1,809百万円、14.9%増)、売上高は13,426百万円(前年同期比1,316百万円、10.9%増)となりました。この結果、当社単体業績は、計画を下回ったものの経常利益は前年度よりも増益となる63百万円の黒字を計上することができました。しかし、誠に遺憾ながら単体の営業損益は、上期営業

損失の挽回には至らず、通期で赤字が残る結果となりました。

連結業績については、マレーシアの子会社が大口顧客の生産低迷により大幅営業赤字と不調であったこと、欧州の子会社が経済環境の低迷の中で買収後の体制整備に伴う先行的経費の支出を行ったこと、中国の子会社がやはり景気低迷の影響もあり営業赤字から脱却できなかったこと等、海外子会社の不振が大きく連結決算の足を引っ張ることとなりました。結果として当社グループの損益は、経常損失113百万円（前年同期は経常損失66百万円）、当期純損失234百万円（本社土地売却益を計上した前年同期は当期純利益853百万円）となりました。

財務体質面では、有価証券評価差額金、土地再評価差額金を主因として、連結ベースで自己資本比率41.7%、純資産は7,991百万円と改善いたしました。

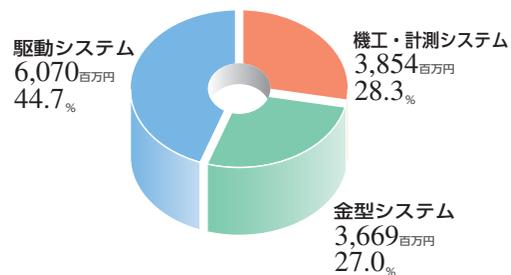
期末配当につきましては、総合的に勘案した結果、1株当たり1円とさせて頂きました。今後一層の業績改善に努める所存ですので、株主の皆様には何卒ご理解とご支援のほどよろしくお願いいたします。

■来期の見通し

中国経済の成長鈍化による世界経済への影響が懸念されるものの、当社グループの主要市場である半導体市場や自動車市場は堅調な推移が期待されること、ならびに現在全力で取り組んでいる利益率改善の施策や海外子会社の合理化の効果等を織り込み、来期の連結業績は、売上高14,000百万円、営業利益60百万円、経常利益160百万円、当期純利益100百万円と予想しております。



セグメント別売上構成比



各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

駆動システム

主要顧客である半導体・液晶市場が堅調に推移したことにより、受注高・売上高はそれぞれ増加いたしました。また、企業買収によるのれん償却等の影響はあったものの、営業利益についても増加いたしました。

当セグメントの受注高は6,458百万円（前年同期比1,391百万円、27.5%増）、売上高は6,070百万円（前年同期比1,113百万円、22.5%増）、営業利益は314百万円（前年同期比175百万円、126.4%増）の結果となりました。

売上高 **6,070** 百万円

新たな商品展開

当社は、駆動システム事業の拡大を目指して品揃えの拡充に取り組んでおりますが、そのために欠かすことができない要素部品である直動ガイドをLシリーズの名称で供給を開始いたします。当社製ボールねじとのセット販売が可能で、環境にもやさしい潤滑機構として含油チューブ付き等、各種オプションも充実しており、さまざまなニーズに対応いたします。Lシリーズの供給開始を機に、直動システム機器市場の開拓を一層積極的に図ってまいります。



直動ガイドLシリーズ

金型システム

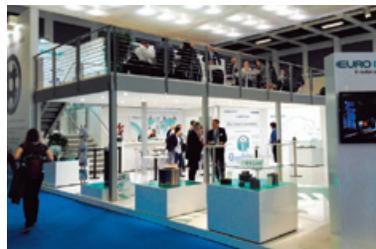
当連結会計年度前半において新型ハイブリッド車向けのモーターコア受注が好調だったことに加え、金型の受注売上も堅調に推移し増収となった一方、相対的に利益率の低い製品の売上が増加したことや、新技術の開発や量産ラインの構築に関わる先行的経費が増大したこと、さらにマレーシアの子会社が大口顧客の生産低迷により営業赤字と不調に陥ったこと等が業績面に影響を与えました。

当セグメントの受注高は3,751百万円（前年同期比727百万円、24.1%増）、売上高は3,669百万円（前年同期比459百万円、14.3%増）、営業損失は292百万円（前年同期は営業損失259百万円）の結果となりました。

売上高 **3,669** 百万円

Euro GroupとのGlue FASTECライセンス契約の締結

平成26年11月、Euro Groupとの間で、当社の金型内接着積層技術であるGlue FASTECのライセンス契約を締結しました。今回のライセンス契約を機に、当社はEuro Groupとの提携を一層強化するとともに、「高効率積層コアのスペシャリスト」として、Glue FASTECならびにFASTEC、Leaser FASTEC等の特長ある金型技術を活用したグローバルな事業展開を進めてまいります。



Euro Groupと共同出展したCWIEMEの様子

機工・計測システム

構造改革の一環として進めて来た汎用ツーリングの台湾企業への事業譲渡および譲渡先での生産立上支援、ならびにハイドロリックツール製造ラインの長野工場から富津工場への移管について、当初計画より遅れたものの完了いたしました。また、基幹情報システムの更新に付随し、生産管理システムの抜本的切り替えを実施いたしました。一連の構造改革の成果が今後現れてくると期待されるものの、当連結会計年度においてはこれら諸施策の実行の影響から一時的に売上が減少いたしました。

当セグメントの受注高は3,947百万円（前年同期比157百万円、3.8%減）、売上高は3,854百万円（前年同期比104百万円、2.6%減）、営業損失は200百万円（前年同期は営業損失91百万円）の結果となりました。

売上高 **3,854** 百万円

工作機械の展開

平成26年10月から11月にかけて開催された日本国際工作機械見本市（JIMTOF2014）に出展し、大変ご好評をいただいた小型精密成形平面研削盤GS-30HLをはじめ、工作機械の出荷台数が前期比で大幅に伸びました。また平成27年2月、当社長野工場内に精密加工組立室を設置し、従来以上の高精度の加工・組立調整が可能になりました。さらに、平成27年3月には、平面研削盤向けのサービスご相談窓口を設置いたしました。この窓口により、お客様の満足度の向上とサービス業務の効率化を図ります。こうした一連の施策は、「お客様のために力を結集する」という経営方針に沿ったものです。

【ご相談窓口】（平面研削盤のサービス専用）

TEL：0120-021-450（フリーダイヤル）

受付時間：平日 9：00～17：00



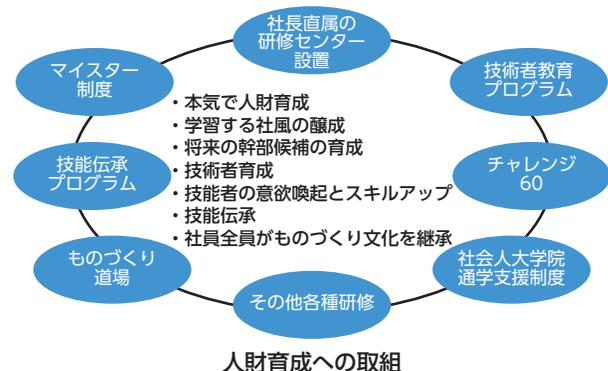
JIMTOF2014の様子

ハイドロリックツール製造部門の移転

平成26年12月、事業構造改革の一環として実行したハイドロリックツール製造部門の長野工場から富津工場への移転が完了いたしました。ツーリングを製造していたスペースに長野工場で使用していた主要設備を移転することによって、富津工場の設備との一体運用を図っております。さらに、長野工場から異動した従業員が富津工場に加わり、富津ツーリングやゲージとハイドロリックツールに共通する要素機器の精密加工・組立技術が集結しました。こうした要素機器に関わる経営資源の集約により、事業の生産性と収益性、開発力のさらなる向上とハイドロリックツールの増産を実現してまいります。

人財育成の推進とクロダものづくり道場の開設

平成23年度より実施した、全社員が参加し、技能検定等の業務に直結する公的資格の取得を目指す取組「チャレンジ60」が最終年を迎えました。取組開始前と比較し、1級技能保持者がほぼ倍増するとともに、その他資格保持者が大幅に増加し、当社の技術力の底上げと「学習する文化」の定着につながりました。また平成27年3月、富津工場内に全社員へ当社のものづくりのDNAを伝承していくための実習の場として「クロダものづくり道場」を開設しました。新入社員や営業・管理部門を含めた社内研修、スキルレベルの向上に繋がる教育訓練に活用するとともに、開発商品の試作や新たな工法へのチャレンジ等、多様なアイデアを創造することができる場として育ててまいります。



主要拠点の耐震工事の完了

平成27年5月、工場を含む主要拠点の耐震工事が完了しました。今回の施工により、各拠点で大規模な地震に対し倒壊または崩壊する危険性が低いとされるis値0.6以上を満たしました。震災時の生産・営業拠点におけるリスクの低減を一步として、今後も事業継続計画（BCP）の充実を図ってまいります。

創立90周年

平成27年1月、当社は創立90周年を迎えました。これもひとえに、株主の皆様をはじめ、関係者の皆様のご支援・ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。今後も皆様方のご期待にお応えすべく、技術力に裏打ちされた企業価値の向上を目指す所存でございますので、引き続きご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成27年3月31日現在	平成26年3月31日現在
資産の部		
流動資産	8,613	7,685
固定資産	10,097	10,352
有形固定資産	5,996	6,178
無形固定資産	1,615	1,824
投資その他の資産	2,485	2,349
資産合計	18,710	18,037
負債の部		
流動負債	5,485	4,750
固定負債	5,233	5,557
負債合計	10,718	10,308
純資産の部		
株主資本	6,087	6,102
資本金	1,875	1,875
資本剰余金	1,451	1,451
利益剰余金	2,768	2,784
自己株式	△7	△7
その他の包括利益累計額	1,708	1,411
その他有価証券評価差額金	635	409
土地再評価差額金	831	801
為替換算調整勘定	459	472
退職給付に係る調整累計額	△217	△271
少数株主持分	195	214
純資産合計	7,991	7,729
負債・純資産合計	18,710	18,037

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成26年4月1日～平成27年3月31日	平成25年4月1日～平成26年3月31日
売上高	13,426	12,109
売上原価	10,691	9,528
売上総利益	2,734	2,581
販売費及び一般管理費	3,129	2,838
営業利益	△394	△257
営業外収益	501	423
営業外費用	220	231
経常利益	△113	△66
特別利益	4	1,284
特別損失	126	541
税金等調整前当期純利益	△236	676
法人税、住民税及び事業税	94	66
法人税等調整額	△70	△244
少数株主損益調整前当期純利益	△261	854
少数株主利益	△26	0
当期純利益	△234	853

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成26年4月1日～平成27年3月31日	平成25年4月1日～平成26年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	310	633
投資活動によるキャッシュ・フロー	△277	2,043
財務活動によるキャッシュ・フロー	191	△2,419
現金及び現金同等物に係る換算差額	41	37
現金及び現金同等物の増減額	265	294
現金及び現金同等物の期首残高	2,242	1,948
現金及び現金同等物の期末残高	2,507	2,242

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成27年3月31日現在	平成26年3月31日現在
資産の部		
流動資産	6,831	5,777
固定資産	10,145	10,005
有形固定資産	5,328	5,435
無形固定資産	344	316
投資その他の資産	4,472	4,253
資産合計	16,976	15,782
負債の部		
流動負債	4,960	4,146
固定負債	4,643	4,770
負債合計	9,604	8,916
純資産の部		
株主資本	5,906	5,654
資本金	1,875	1,875
資本剰余金	1,451	1,451
利益剰余金	2,587	2,335
自己株式	△7	△7
評価・換算差額等	1,466	1,210
その他有価証券評価差額金	635	409
土地再評価差額金	831	801
純資産合計	7,372	6,865
負債・純資産合計	16,976	15,782

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成26年4月1日～平成27年3月31日	平成25年4月1日～平成26年3月31日
売上高	10,772	9,508
売上原価	8,703	7,642
売上総利益	2,068	1,866
販売費及び一般管理費	2,210	2,078
営業利益	△142	△211
営業外収益	385	423
営業外費用	179	198
経常利益	63	12
特別利益	4	1,283
特別損失	2	678
税引前当期純利益	65	617
法人税、住民税及び事業税	71	32
法人税等調整額	△39	△234
当期純利益	33	819

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

会社の概要

(平成27年3月31日現在)

商号	黒田精工株式会社
本店	神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16
創業	1925年(大正14年)
資本金	18億7500万円
従業員数	419名

連結対象会社の状況 (平成27年3月31日現在)

連結子会社	持分法適用関連会社
クロダイインターナショナル株式会社 グローバルビジョンインダストリーズ(株) (マレーシア) 平湖黒田精工有限公司 (中国) 永昇電子株式会社 韓国黒田精工株式会社 KURODA JENA TEC HOLDINGS LTD. (英国) Jenaer Gewindetechnik GmbH (ドイツ) Kuroda Jena-Tec, Inc. (米国) Jena Rotary Technology Ltd. (英国) 平湖黒田捷納泰克商貿有限公司 (中国)	株式会社ゲーミング 日本金型産業株式会社 株式会社TGK

当社グループの主要な事業 (平成27年3月31日現在)

セグメント	主要製品
駆動システム	精密研削ボールねじ、転造ボールねじ、ボールねじアクチュエータ、XYステージ、ガイド、ギア
金型システム	積層精密プレス型、精密金属プレス商品、モーターコア
機工・計測システム	保持工具、ゲージ、平面研削盤、超精密鏡面研磨装置、超精密表面形状測定装置、電子機器、コンプレッサ、スピンドル

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
定時株主総会	毎年6月下旬		三井住友信託銀行株式会社
基準日	毎年3月31日	郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
記録簿・帳簿			三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告により、当社のホームページに掲載します。 http://www.kuroda-precision.co.jp/ ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。	(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店でっております。

株式に関するお手続きについて	
○証券会社等の口座に記録された株式	
お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
郵送物等の発送と返戻に関するご照会	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
支払期間経過後の配当金に関するご照会	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
株式事務に関する一般的なお問合せ	TEL. 0120-782-031 (フリーダイヤル)
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
○特別口座に記録された株主様の株式に関する各種お手続きに関しましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、下記へお問合せください。	
お問合せ先	0120-782-031 (フリーダイヤル)
[手続き書類のご請求方法]	
・インターネットによるダウンロード	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

黒田精工株式会社

本社 / 〒212-8560 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16
TEL / 044-555-3800 (代表) FAX / 044-555-3524
http://www.kuroda-precision.co.jp/

